青い空

寿々

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
青い空

【Ｎコード】
Ｎ９５３９Ａ

【作者名】
寿々

【あらすじ】
阿近×ネムのシリアス＆ほのぼのな話。ＣＰが嫌いな方は御注意ください。

青い空が広がっている。
雲一つ無い青い空。
飲み込まれそうで、怖くなるくらいに
その空は、青かった。

ここは技術開発局。
その上にも空は広がっている。
変わることの無く
私の頭の上を、青で染めていた。

十二番隊副隊長。涅ネム。
十二番隊隊長、涅マユリの実の娘。
あまり、娘らしく扱われてはいないが・・・・。
「どうした。ネム」
「・・・阿近さん」
阿近は、ネムの横にどっかりと座った。
ネムは行儀よく足をそろえている。どうしていつもそんな堅苦しい格好をしているのか
阿近は知っていた。

「空が、青いですね」
「あぁ」
「綺麗だと、思いますか・・・・？」
「・・・・思うよ」
「そうですか」
ネムが何を言いたいのか、阿近にはさっぱり分からない。
風が吹く。

ネムのみつあみが風になびいた。
空の青さより、髪のほうが綺麗だと思った。

「阿近さーん。ちょっと来ていただけますかー？」
遠くから声がする。この声は、きっと壺府リン。
「鵯州さんが呼んでるんですけどぉー・・」
「分かった。すぐ行く。リン、菓子ばっか食ってだらだらすんなよ」
「し、してませんよぉ・・・」

阿近とネムが座っていた長椅子は、ネム一人になった。
変わらず、空は青い。
阿近さんは、それを綺麗だといった。
私には分からない。
「ネム！新しい研究材料が届いたヨ！お前も見てみるといい」
「はい・・・。マユリ様・・・」
箱の中をのぞくと、死んだ死神が一人。
「なんでも3番隊の雑魚だそうでネ。任務に行ったっきり帰ってこないと思ったら
死んでたそうだヨ。もう少し欲を言えば生きている人間がよかったネ
まぁ、研究できるに越したことはないがネ。ひゃはははは！」

腹に穴が開いて、目をむいたまま死んでいる・・・。
私には、こっちのほうが綺麗に見えてしまう。
これが、マユリ様の必要なものだから。

私もいつか、阿近さんと同じように
空が綺麗だと、思えるようになりたい。
あの青い青い空は、今は恐ろしいとしか感じないけれど
いつか、綺麗だと思えるように
なりたい。

「おい。リン」
「なんですか？」
阿近は空の一点を指差した。
「空、綺麗だと思うか？」
「え？思いますよ？あ！今日凄くいい天気！雲が全然ないです！！」
リンは空を見て綺麗だ、と言った。
鵯州はそんなものに興味は無いだろう。

「阿近さん」
数日後、ネムが阿近のトコロにやってきた。
「また、あの長椅子のところへ、来てもらえますか」
ネムは先立って歩き出した。
綺麗な後ろ姿だった。
「局長に、怒られないか？」
「大丈夫です。会議の後、お一人で研究をされると」
「ふーん」
この日は、雨だった。
空は青ではなく、灰色。
「私は、灰色の空の方が綺麗に見えるのです」

なぜこんな雨の日に
こんなトコロにいなければいけないのか
雨に濡れたいわけでもないのに。

「ネム。風邪引くぞ。後・・・」
「後、なんですか？」
「灰色の空も俺は綺麗だと思う。
それから、空の青さより、お前のほうが、綺麗だ」

ネムは笑った。
見たこともない
笑顔を見せて。

「ありがとうございます。阿近さん」

雨は上がった。
雲は四方に散った。

青空が、顔をのぞかせた・・・・・・・・・・・・。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n9539a/

青い空

2010年10月28日04時37分発行